



芽室町コミュニティ・スクール（CS）通信

～みんなで創り みんなでつなぐ ずっと輝くまち めむろ～

令和2年 6月16日 No.14

かなえよう 発行 めむろ郷育・夢育応援団事務局（芽室町教育委員会）

1 今まさにCSの出番！～「めむろ郷育・夢育応援団」本部会議を開催予定

新型コロナウイルス感染症拡大により、各種会合や事業を控えつつも、コロナ禍にある今だからこそ、CSの出番であると考え、各学校や町民活動支援センター等との協議を進めてきました。国の緊急事態宣言解除等を受け、町教委としても3つの密に配慮しつつ、少しずつ関係事業を始動させているところです。

このような中、29日（月）に、本年度第1回目の標記会議を開催し、本年度の事業計画等について協議する予定です。本年度早々に着手する予定であった「学校支援ボランティア（学校の応援団員）」の全町的な募集を含めた人材発掘とリスト作成、及び学校が必要とする活動とその人材とのマッチング作業と派遣などの事業を重点に進めていきます。手島町長の「これからの田舎にはチャンスがある。ただの田舎ではなく、魅力いっぱいの田舎にしたい。」や町の将来像「みんなで創り、みんなでつなぐ ずっと輝くまち めむろ」を踏まえ、子供や学校を核とした町づくりにつながるよう、CSの取組を進めていきます。



2 コロナに負けるな！家庭学習支援プロジェクト～地域おこし協力隊員が躍動！



学校の休業中に、町教委に在籍する「地域おこし協力隊」の松尾雄斗隊員と芳野都馬隊員の二人が、運動編と学習編の動画をそれぞれYouTubeに配信することにより、子供たちの家庭学習支援を行いました。十勝スカイアースの主力選手でもある松尾隊員は、運動不足の解消のため、ちょっとしたスペースでできる、アスリート目線での体幹トレーニングやストレッチを紹介しました。芳野隊員は、少しでも学ぶことが好きになってほしいという思いを含め、やる気の出し方や教科ごとの題材を例示しながら学び方を伝えていました。この「自分たちが、今できること」を踏まえた取組が、子供たちのストレス解消やモチベーションの向上の一助になったことでしょう。

3 芽室中学校の学校運営協議会の内容紹介！

先月の芽室中学校の標記協議会では、①地元のすばらしさ（芽室の過去・現在）を再確認できる機会や地元で活躍する人材等と話せる機会を持たせたい。②異世代交流の促進、③コロナ禍の中、心に残る行事の実施、生徒の心に寄り添う指導の必要性等について協議が行われました。まさにCSで取り組むべきことが浮き彫りになるとともに、地域で活躍する人材等との交流は、町で進める「ジモト大学」につながる、貴重な示唆をいただいたと思います。応援団本部事業との連動を図っていきます。

<言葉のビタミンプラス>

「顔をいつも太陽の方を向けていて。影なんて見ていることはないわ」

by ヘレン・ケラー

「泣いて暮らすも一生、笑って暮らすも一生、ならば笑って暮らしたい！」

by 一笑 賢明